



11月6日に東海地方の大学生協の学生委員会の方たちと日本ユニセフ協会大阪支部の見学に行ってきました。そのときに聞いたことも交えてunicefの活動についてお話したいと思います。

日本ユニセフ協会大阪支部の活動

日本ユニセフ協会大阪支部は、国際機関であるunicefの国内委員会のひとつである「日本ユニセフ協会」の地域組織のひとつです。ユニセフ・カード(ポストカード)の販売や音楽会、イベントなどでの外部販売などでunicefの活動資金を集める活動、各地域ごとの募金活動、事務所で保管している視聴覚資料などを小学校などに貸し出したり、講師を派遣する活動などを行っています。



unicefのグッズなどについて

大阪支部の事務所(廃校の教室を利用していました)では、スタッフの方にunicefの組織のことを説明していただいたり、unicefの活動や世界の子供たちの現状についてのビデオを見せていただいた後、事務所で保管している資料やポスターを見せていただきました。左の写真に、そのグッズなどの一部が載せてあります。例えば、ユニセフ・カードがあるのですが、これは、カードの値段の半分が材料、製作、人件費にあてられ、もう半分をunicefの現地事務所の活動資金にあてるという仕組みで販売されているものです。

募金の使われ方

各地域組織で集められた募金のうち、パキスタン地震など、各地で起きている災害や紛争からの復興を支援する緊急募金はその地域の復興の資金に、常時集めている一般募金はニューヨークのunicef本部に拠出されて執行委員会で承認された援助計画と予算に基づいて世界162の国と地域で行われるユニセフの支援活動に使われます。

後書き

今回の見学では、日本ユニセフ協会大阪支部のスタッフの方の仕事を見せていただき、unicefの活動を実感するいい機会となりました。また、見学の後、他の大学からの参加者と自分の大学で行っている活動について意見を交換することができ、お互いにいい刺激になりました。今後はこの経験を活動に生かしていきたいと思っています。

文責:ユニセフ班広報部

ウィンターフェア~冬の組合員感謝祭~

12月5日から9日まで、北部生協前でフェアトレードの食品や小物、ユニセフ・カードを、I Bカフェでフェアトレード紅茶とクッキーのセット、ココアを販売しました。

組合員の皆様のご好評をいただき、5日間の売り上げは北部生協前のフェアトレード商品が49,259円、ユニセフ・カードが1,630円となりました。I Bカフェでの売り上げはまだ集計中です。

また、北部生協前ではユニセフ募金を行い、2,561円の募金が集まりました。ご協力ありがとうございました。